

がん登録部会からの報告

がん診療連携拠点病院等院内がん登録2013年全国集計

【調査対象】

- データ提出依頼施設 **409施設**
 - ◆ 平成26年8月時点での拠点病院
(地域がん診療病院:1、特定領域がん診療連携拠点病院:1 を含む)
- 対象データ
2013年(平成25年)1月1日～12月31日の間の診断症例
- データ収集期間 **従前より1ヶ月前倒し**
 - ◆ ネットワーク型: 平成26年10月6日～11月21日 **402施設**
 - ◆ 従来型: 平成26年11月4日～11月18日 **7施設**

【調査結果】

- データ提出施設 **409施設**
- 集計対象 **656,272件(409施設)**
 - 過去4年との比較、傾向分析を追加集計
 - 主要5部位以外(前立腺、子宮頸部、膵臓、食道)の病期を初集計

がん診療連携拠点病院等院内がん登録全国集計

表2-1 全登録数の推移

登録年	2009	2010	2011	2012	2013
拠点病院数(調査時)	377	388	397	397	409
集計対象施設数	370	387	395	397	409
全登録数	487,441	548,979	584,120	613,377	656,272
1施設当たりの 全登録数の中央値	1,150	1,251	1,313	1,363	1,398
最小値	155	168	162	175	158
最大値	8,866	8,620	8,174	8,617	9,339
症例区分8を除く 集計登録数 (全登録数に対する割合)	471,827 (96.8)	530,363 (96.6)	563,422 (96.5)	590,856 (96.3)	629,491 (95.9)
症例区分2,3のみ (全登録数に対する割合)	403,996 (85.6)	451,058 (85.0)	475,924 (84.5)	497,725 (84.2)	527,117 (80.3)

拠点病院 院内がん登録 5年相対生存率(2007年)

【調査対象】

- データ提出依頼施設 **376施設**
- ◆ 平成26年5月時点での拠点病院で
予後支援事業に参加 あるいは データ提出が可能な施設
- 対象データ
2007年(平成19年)1月1日～12月31日の間の診断症例
- データ収集期間
平成26年6月23日～7月16日

【調査結果】

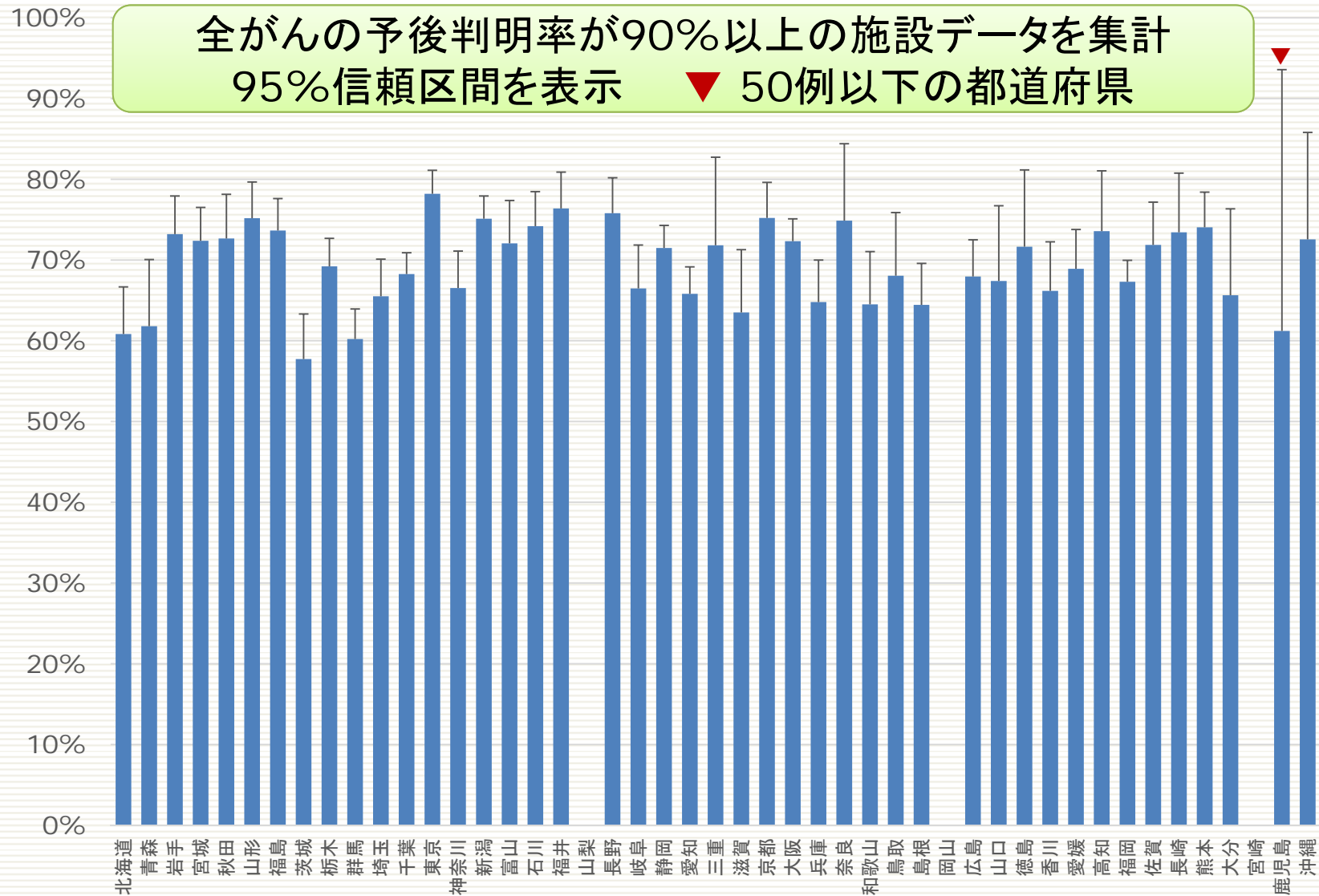
- 収集総数 **239,629件** **234施設**
- 集計対象 **症例区分:2,3**(初回治療施行例)について
施設の予後判明率:90%以上(176,865件:168施設)
- 主要5部位の**Over All 相対生存率**を**県別**に集計
対象の年齢別・臨床病期別・観血治療比率を付記した報告書を作成

相対生存率公表の基準

- 集計対象は**症例区分: 2 or 3** 自施設初回治療症例
- 全がんの**予後判明率が90%以上の施設**
- 原則**50例以上**の都道府県/施設を公表対象
- **2007年データ**については、
都道府県別で**主要5部位**についてのみ公表
- **2008年以降**については
都道府県別/施設別で **部位別結果**を公表
 - ◆ 県別は**主要5部位以外**の集計・公表も検討
 - ◆ 施設別は、**当面主要5部位**のみ

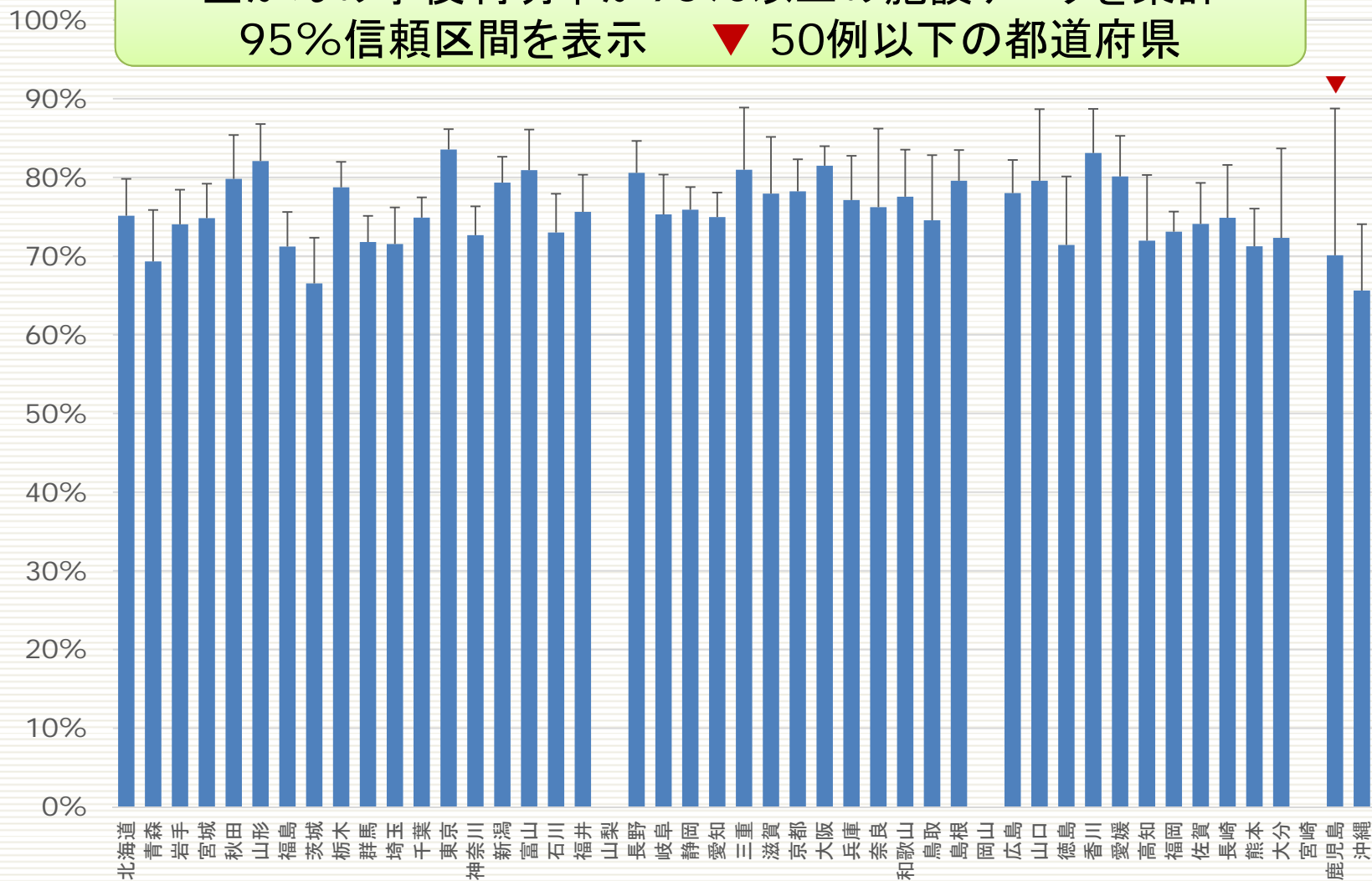
拡張する場合は、がん登録部会に諮っていく

胃がんの5年相対生存率(2007年)



大腸がんの5年相対生存率(2007年)

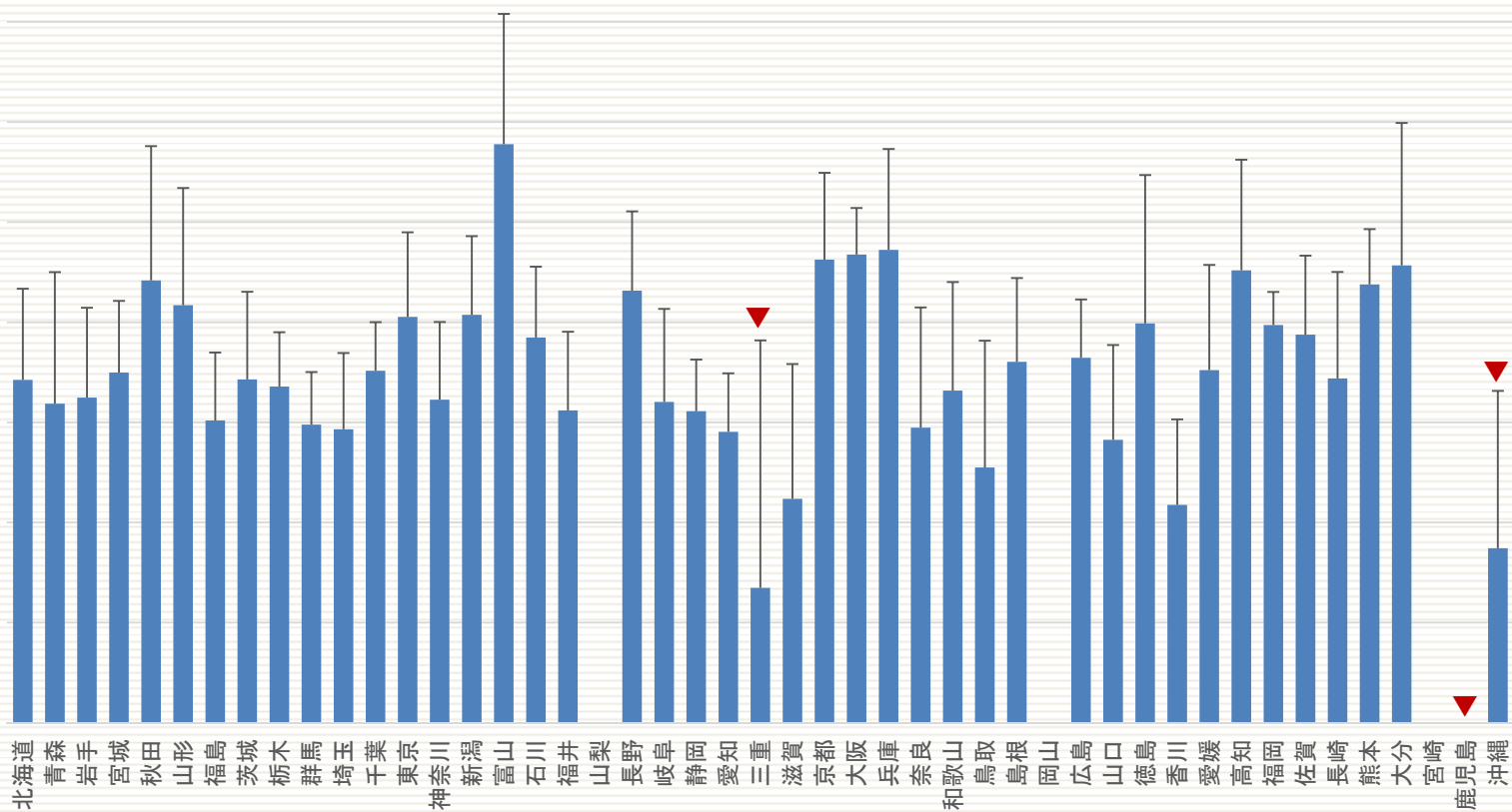
全がんの予後判明率が90%以上の施設データを集計
95%信頼区間を表示 ▼ 50例以下の都道府県



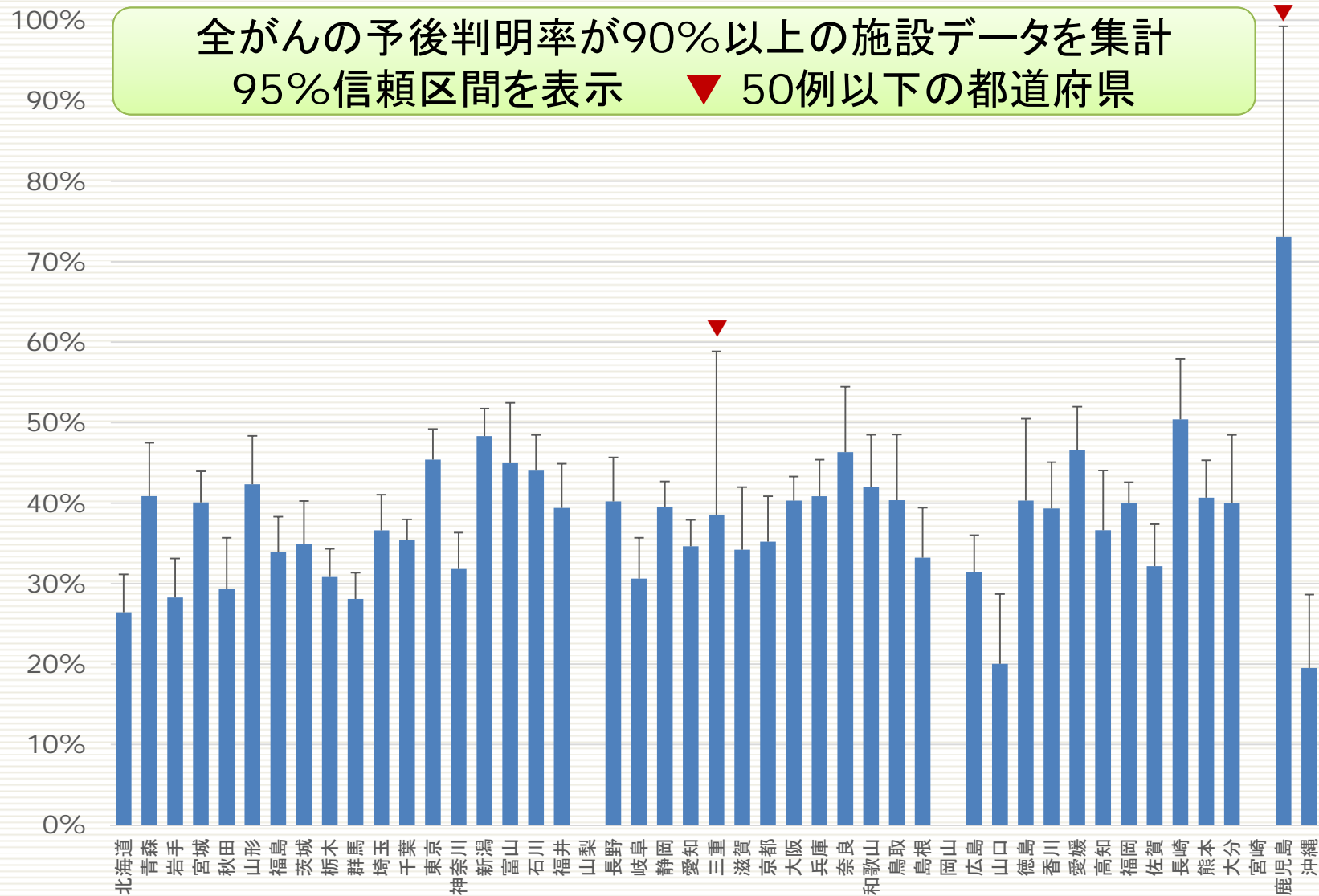
肝がんの5年相対生存率(2007年)

100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%

全がんの予後判明率が90%以上の施設データを集計
95%信頼区間を表示 ▼ 50例以下の都道府県

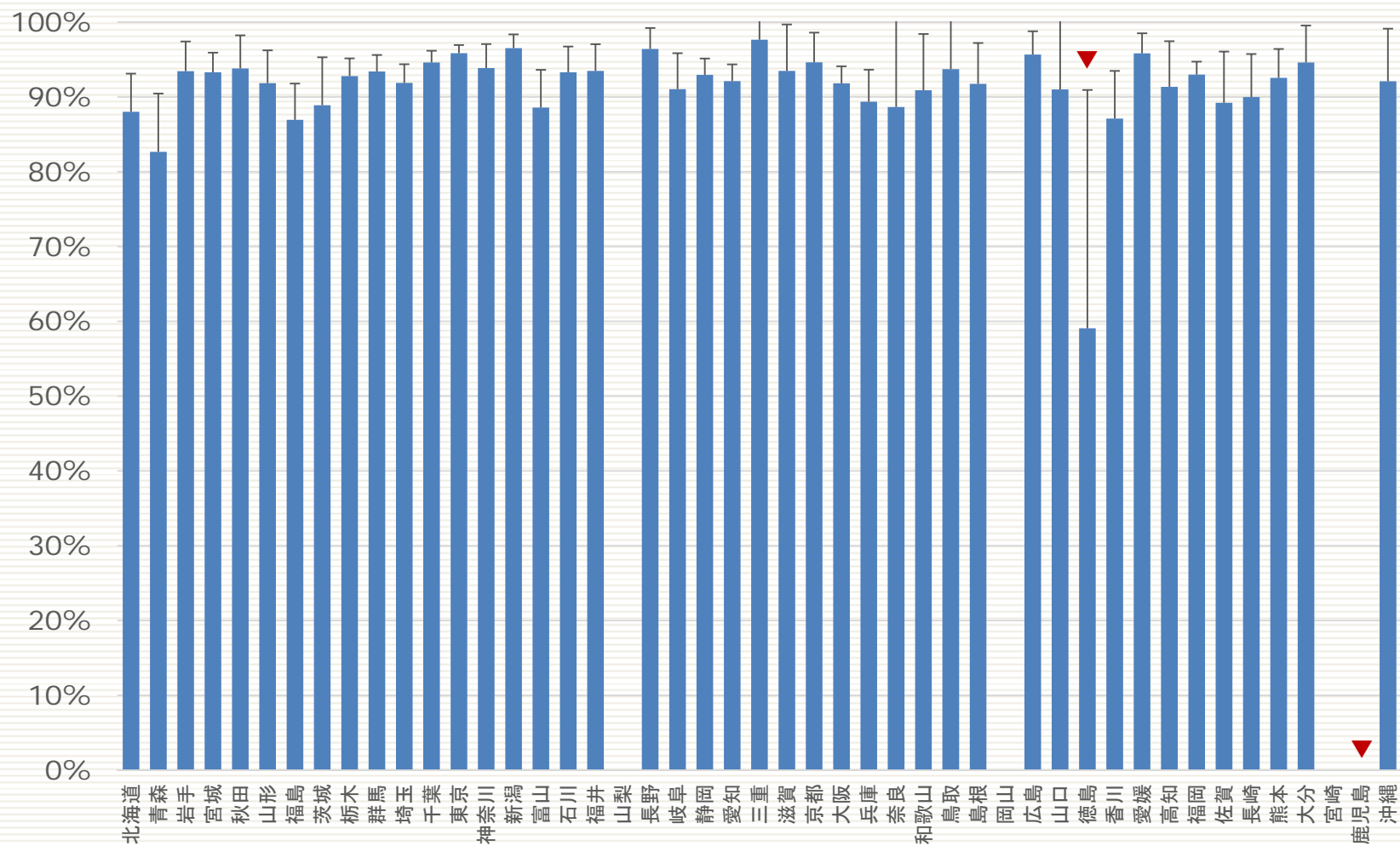


肺がんの5年相対生存率(2007年)



乳がんの5年相対生存率(2007年)

全がんの予後判明率が90%以上の施設データを集計
95%信頼区間を表示 ▼ 50例以下の都道府県



院内がん登録を利用した調査研究

- **遡り研究** 研究対象施設の絞り込みに利用
希少がん等について より詳細な 追加的な調査研究
← 対象施設の絞り込みに、院内がん登録データを利用
 - データ利用審査委員会の審査を経て、
診療施設のリスト(+症例数)を研究者に提供
 - 研究者から、診療施設に研究協力依頼 → 施設の協力下に収集
- **特別研究** 部位特異的な詳細情報をがん登録として収集
部位特異的で より詳細な情報を 調査研究
← 拠点病院等に、詳細情報の収集を前向きに依頼
 - 収集情報については、がん登録部会に諮りつつ決定
 - 2016年症例では、大腸がん(KRAS変異、Tumor Deposit等)、
肺がん(PM,PL)、乳がん(ホルモンレセプター)を予定
 - 2016年全国集計で公表(施設にも施設別集計結果を還元)

いずれも、施設の篤志的な判断で参加していただく

がん登録部会 QI研究 (QI研究)

● 2012年症例 232施設(拠点の54%)が参加

- HPで結果をフィードバック
- 参加証明書の発行
- 報告書の配布準備中

● 2013年症例

- 参加募集開始(別添資料)
8月7日参加申込締切

問い合わせ:がん政策科学研究部

hsr@ncc.go.jp



院内がん登録の利用について

- 施設内でのがん症例のラベルとしての利用
 - ◆ がん登録部会 Quality Indicator研究 (QI研究)
 - ◆ 遡り研究
 - ◆ DPCデータとのリンケージによる研究
- より詳細なデータへの基礎情報・精度管理
 - ◆ 特別研究
 - ◆ 精度指標との比較による精度管理
- 施設特性の分析
 - ◆ 部位別、病期別、年齢別などの集計値との比較

全国がん登録

地域のがん罹患等の把握

院内がん登録

施設のがん診療等の把握